

第33回上映会

よみがえりのレシピ

渡辺智史監督作品
(2011年/日本/95分)



おいしくて、そして心に効くドキュメンタリー映画

©映画「よみがえりのレシピ」製作委員会



渡辺智史監督講演
12:40~13:40

2013年12月7日(土)
[上映時間] 11:00~ ②14:00~
[会場] 横浜市西公会堂

よみがえりのレシピ

【あらすじ】

栽培者自身が種苗を管理し守ってきた在来作物(ざいらいさくもつ)は、世代を超えて地域に受け継がれてきました。しかし品種改良された作物より収量が少なく、病気にも弱いことから市場で評価されず、多くは消失してしまいました。そんな時代に独自の料理法で在来作物の存在に光を当てた“山形イタリアン”「アル・ケッチャーノ」の奥田政行シェフ。野菜の個性的な味・食感・香りを生かした料理には、新鮮な魚介や肉と、地域の風土や物語も盛り込まれます。また焼き畑農法を研究する江頭宏昌先生は「ここにしかない価値」を秘める在来作物が地域再生の起爆剤になると確信しています。

さらなる主役は、手間を惜しまず種(たね)を守り続ける農家の人たち。その笑顔と心意気を感じることで、何気ない日々の生活が少しだけ違って見える、そんな魅力が『よみがえりのレシピ』には溢れています。



©映画「よみがえりのレシピ」製作委員会

【スタッフ】

プロデューサー

・・・・高橋卓也

監督・・・・渡辺智史

撮影・・・・堀田泰寛

・・・・渡辺智史

現場録音・・・・佐藤広一

・・・・高橋伸輔

編集・・・・渡辺智史

音楽・・・・鈴木治行

演奏・・・・神田佳子

・・・・多井智紀

【キャスト】

在来野菜と生産者

☆焼畑カブ・・・・渡会美代子さん、後藤勝利さん

☆だだちゃ豆

☆外内島キュウリ・・・・上野武さん

☆甚五右エ門芋・・・・佐藤信栄さん、佐藤春樹さん

☆梓山大根・・・・釜田恵治さん

☆もってのほか(食用のキク)

☆金谷ゴボウ・・・・鏡弥次郎さん

☆山形赤根ホウレンソウ・・・・柴田吉美さん

☆雪菜・・・・吉田昭市さん

奥田政行氏

「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ

江頭宏昌氏

山形大学農学部 准教授



〔 渡辺智史監督プロフィール 〕

1981年生まれ、山形県鶴岡市出身。

東北芸術工科大学在学中に東北文化研究センターの民族映像の制作に参加。2003年山形県村山市の茅葺集落五十沢の1年を追う。その後上京して、イメージフォーラム付属映像研究所に通いながら映像制作を開始。05年有限会社アムールで飯塚俊男

氏に師事し、「An Die Freude 歓喜を歌う」、「映画の都ふたたび」に携わる。08年、フリーで活動開始。「湯の里ひじおり一学校のある最後の一年」を監督。10年より、映画「よみがえりのレシピ」を撮影開始。

2011年山形国際ドキュメンタリー映画祭、2012年香港国際映画祭に本作品を正式に出品している。

〔 製作意図 〕

在来作物は何十年、何百年という世代を超え、味、香り、手触り、さらに栽培方法、調理方法を現代にありありと伝える「生きた文化財」である。しかし高度経済成長の時代、大量生産、大量消費に適応できず、忘れ去られてしまった。社会の価値観が多様化する現代に、足並みを合わせるように在来作物は、貴重な地域資源として見直されている。在来作物を知るこ

とは、食と農業の豊かな関係を知ることにつながる。地域に在来作物がよみがえり、継承されていく姿は、豊かな食を味わい、楽しむ姿であり、地域社会の人の絆を深め、創造する姿である。この動きを日本全国、さらには世界中で起きている食や農業の問題への処方箋(レシピ)として伝えていきたい。

〔 在来作物とは 〕

ある地域で世代を超えて、栽培者によって種苗の保存が続けられ、特定の用途に使われてきた作物のことで、穀物、果樹、野菜、花等も含まれる。

商業品種に代表される F1(一代交配種)や GM(遺伝子組み換え種)と比べると、収量、耐病性、外観や日持ちに優れないものが多い。そのため高度に発達した流通社会のなかで、評価されない時代が続いてきた。

一方で、作物を通じて地域固有の歴史や文化、栽培や利用等のノウハウが受け継がれており、土地の風土を過去から未来へと伝える「生きた文化財」としての側面も持つ。

例えば焼き畑農法で育てられた在来のカブは、焼き畑地の手入れ、火入れの仕方、播種の仕方といった様々な知恵と一緒に守り継がれてきた。そして地域固有の郷土料理を支え、地域に暮らす人々の味覚を作り上げてきた。



2013. 9. 8 第32回上映会

警察日記

アンケート集計結果

来場者数 148名
アンケート総数 46枚(回答率 31.1%)



作品についての評価・感想

「とても良かった」 26枚 (56.5%)

- 昔の時代の雰囲気がよく出ていてとても感動した。貧しい時代の実験の経験はないが、隣の人々が感動して泣きながら、あの貧しさでは原発の誘致も仕方なかったと言っていたのが心に届いた。
- 心がきれいに洗われました。今では実際に見ることができない景色が素晴らしい。
- もう亡くなられた多くの俳優の若き頃を、なつかしく見ました。古い映画は父に連れられてけっこうみてましたが、警察日記ははじめてでした。
- 昔は人情があった。NHKのあまちゃんにも似た。
- オリンピック決定の日に、50年前の素晴らしい映画を見て感動した。日本の再復興のエネルギー、自衛隊発足もこの時代だったのだ。地方を含め人々の人情、人間関係のあり方による。→経済発展の裏での人情の機微を大事にすべきだ。
- 昔の日本人の心のぬくもりをうしなわれつつ人情がひどくなつかしく心にしみました。
- 日本映画の代表作でとても良かった。
- ようやく(会場に)たどり着いて前半少しぼんやり

していました。二木てるみさんに会いたいと思いつながり、はじめてこの映画をみることでとても良かったです。名前をおもい出せない俳優さんたちの姿を映画でみることができました。心がほんわかして帰ります。

- 自分の中学時代の子供の頃の風景があり、古き良き時代の名作ではないかと思った。久々に感動しました！
- 今の若い人たちが見たらどのような感覚で・・・貧しい生活は、想像できないだろうと思いました。
- 警察署で当時道場に山伏の足で剣道を訓練していたかを吉田神社聖護院山伏にお話をお聞きして、写真か、冊子と体験談を、図書館で確かめてみます。
- ただ、ちょっと風邪ひいてるからか、音響のせいかな、聞き取れないセリフがけっこうありました。
- 58年前の作品です。この年に私は大学を卒業し銀行に就職しました。当時の「ゴラク」は映画が最良でした。この映画「新宿日活帝都座」(今の新宿伊勢丹の前にありました)で見ました。館内は超満員で中扉が閉まらないような状況でした。なつかしい俳優さんを沢山見られて若い頃を思い出しました。
- 1955年(昭和30年)は、とてもなつかしい昭和の時代。ほろろがい映画「警察日記」でした。出演者も皆若い。フィルムを巻き戻したように当時の自分の生活を思い出し、心情が重なる場面もあって、特に捨て子した母親の気持ちの場面では涙があふれて。
日本国中が敗戦後からようやくという時代ではなかったでしょうか。娘は4歳、夫は生死を分ける闘病時代で映画を観る余裕はなく子育てと生きることに専念し、働いていましたので。現在(いま)、よい映画を上映してくださること、またそれを観られることに感謝です。
- ご案内を見て期待して来たのですが、期待以上に素晴らしい作品でした。骨太な内容で、今見てもちっとも古びていません。むしろ今、改めて見るべき作品だと思いました。最初と最後に出てくる校長先生が印象的です。

「良かった」 18枚 (39.1%)

- 古き良き日本人の人情が表現されていて、今の世のせち辛い人情を考えざるを得なかった。警察が戦後「オイ、コラ！！」から民主的な警察をと最大限賛辞を送っているが、村社会の戦後農村がおかれた切り捨て政策の被害者が軽微な事件で捕まっていたが、都会では殺人事件がいまより多発していた世の変動する時代であ

った事を思い出した。

- この時代の貧しさを知り、今の時代がいかに贅沢になっているかをひしひしと感じた。と同時に、犯罪の質の違いも感じた。
- 今や故人となった出演者が多く、なつかしく見れた。二木てるみの表情が可愛かった。チンドン屋も、昔見たことがあった。
- 何故このような昔の作品を？と思いながらきましたが、古い日本映画を観る機会はありませんので、良い経験になりました。人情がありながらベタベタしておらず、テンポも良く、笑ってしまう場面もあり、楽しく見られました。
- まるで別世界、亡父の時代を思い出しました。不思議な気持ちになりました。ありがとうございました。
- 今日は遅れてしまい、途中から見る形になりましたが、戦後の人情を感じさせる部分と、農村に近い地域のその当時の問題に対して考えさせられました。
- 自分の田舎、昭和35年頃の人々の人情が思い出され、心が温かくなる思いです。今、世の中便利になったけど、人々の関わりがさびしくなって来たのを感じる。

「普通」 1枚 (2.2%)

- 昔の子供時代によく観た懐かしい映画でした。時代の変化をつくづく感じた次第です。くしかし、この種の映画は京橋のフィルムセンターでもっと安く、いつでも観ることができます。従って、この倶楽部では社会的なテーマ性を持った最近の映画、説得性のある映画をお願いしたいと思います。これでは懐かしのメロディーの映画版そのものです！>

無印 1枚 (2.2%)

- 人の暖かさを改めて確認。日活アクション マイトガイ等は年配者が喜ぶのでは。会員増加。

横浜市内の映画館の数や状況 に対してどのように感じていますか？

- 人の暖かさを改めて確認。日活アクション マイトガイ等は年配者が喜ぶのでは。会員増加。
- 映画館のある地域がかたよっていることに不満。映画館でなくとも、区民文化センター等で臨時的に上映する機会が多くなると良いと思っています。
- 良き旧日本映画を見る場所がない。
- 最近はこちらこちらにシネコンが出来てとても便利になりました。私家の近くに「ららぽーと横浜シネマ」が出来て会員になっています。6本見ると1本が無料になるので月に2〜3回の割合で出掛けます。老人なので1000円なので負担が少ないです。今回の役者さんはほとんどの方が亡くなっていますが「二木てるみ」はどうしてますかね。
- 東京でいうと新文芸坐や神保町シアター、シネマヴェーラ渋谷、ラピュタ阿佐ヶ谷のような名画座が欲しい。同友会などにも相談してみればどうか。
- わからない
- どうしても観たい映画があれば出かけると思いますので、時代の流れからいえば採算のとれない映画は止むを得ないと思います。

◆これまでの上映作品◆

全35回

(特別上映会3回含む)

美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆるる/トリノ、24時からの恋人たち/
長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイスー12歳の戦場ー/モーターサイクル・ダイアリーズ/
恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農業高校、馬術部/
ラストゲーム〜最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/
縞模様のパジャマの少年/春との旅/小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/
ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー 心をつなぐ歌/
ドーバーばばあ 織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ 幼き瞳の告発/
メリエスの素晴らしき映画魔術&月世界旅行/かぞくのくに/検察日記/名もなく貧しく美しく

2013. 11. 10 特別上映会

名もなく貧しく美しく

アンケート集計結果

来場者数 331名
アンケート総数 80枚(回答率 24.2%)



作品についての評価・感想

「とても良かった」 60枚 (75.0%)

- 昔のろう者の環境をリアルに表現した映画でした。
- 道夫さんと秋子さんが二人で会話するシーンが良かった。一郎が生まれて薬缶をたたいたり、ラップをふくシーンが面白かったです。
- 最後に、秋子を死なせずに終わってほしかった。
- 手話を勉強中で、見に来ました。
映画や講演で、聴覚障害者の生活を知る事が出来て、本当にためになって良かったです。
- 映画の字幕のご苦労が感じられました。とても良かったです。
- とてもよい映画でした。今何でも恵まれていても不満だらけの人もあります。助け合って生きている二人の姿、やさしい祖母、涙いっばいでした。最後はびっくりしました。松山監督の思いが伝わる映画でした。もう亡くなった俳優さん達がたくさん出演されなつかしく思いました。特に原泉さん・・・)
- 今は亡き、なつかしい俳優たちの若き姿に会えて、とても楽しかったです。ろうあ者など、障害を持つ人達は当時に比べるとだんだん世間の認識度は高くなって来たとは思いますが、このところ政府による「福祉切り捨て政策」などにより、今なお、苦しく、厳しい現実を懸命に生きております。健常児の私達も、彼らの苦労や努力には頭が下がる思いです。ボランティアなどで少しでもお力になればと思います。

- 私は、この年（ 1961年12月 ）に生まれました。
- 久しぶりに込み上げるものがありました。映画の力は、やっぱりすごいですね。こういう映画をまた願います。
 - 昔見た時と感じが違い、高峰さんのすばらしい生き方に熱いものを感じました。
 - 電車の中の二人の手話が非常に印象深かったです。
 - 今の日本が失ったすばらしいものが沢山ありました。
 - 日常生活を改めて見つめることができました。
 - 障害者が主人公のドラマ等は、お涙ちょうだいといった感じのものが多いので好きになれませんでした。この映画はそういった安っぽさがなく、生活苦や子育てに悩むのも皆同じであるところも心にしました。秋子が息子の成長を見届けることなく亡くなり、ショックでした。道夫さんは今後どうになってしまうのかと思いましたが、息子が秋子に替わって道夫さんを支えてくれる。そのラストが良かったです。
 - 最後のシーンが衝撃でした。
 - 障がいには聴覚だけ。二人で助け合う夫婦のすばらしさに感動しました。
 - 今日で観るのは 2 回目ですが改めてすばらしい映画だなと思いました。
 - 昔の映画でも、良いものはやはり良いものだと思います。
 - 字幕がはっきりと写って見やすかった。
 - 一度見る機会があったら・・・と思っていたのですが、いいチャンスでした。本当に心が洗われる映画でした。戦後の時代の貧しい中で「心清く正しく」生きる人々も居た、現代人にもっと知ってほしい物語です。高峰秀子さん素晴らしい演技でした。
 - 美しい夫婦関係、家族関係、現代では忘れてしまった家族愛を示された。若い人達にも見てもらいたい作品だ。
 - とってもよかったです。多くの人に見てもらいたいです。
 - こう言った古い映画がいいですね。
 - 人を思う気持ち、改めて考えることが出来ました。
 - 当時の時代背景が良く描かれていました。
 - 永久の名作です。
 - 題名は聞いたことがあったが見るのは初めて。昔の映画というイメージだったが今でも十分通用する内容で見に来てよかったです。
 - 聴覚障害の人の苦労がわかった。

- これは“名作”だと感じました。喧騒渦巻くガード下や車両の窓越での手話のやりとりなど、“名場面”の連続でしたね。
- 久しぶりのいい映画をみました。ラストは苦しすぎましたが。

「良かった」 15枚 (9%)

- 以前見た映画なので新鮮な驚きはなかったのですが、よい映画であることは間違いない。今と違ってシリアスな所が多く胸打たれる場面が多い。
- 秀夫さんと同年代の私ですが、戦後の日本復興から少しずつ日常生活が生き生きと出来る様になって来た時代をなつかしく思いながら、人間らしい温かさ、手ごたえ、関係があった様に思え嬉しかった
- 何回みてもよい内容です。
- 時代背景もありますが、人が生きる意味をよく表していると思いました。

「普通」 2枚 (2.5%)

「無印」 3枚 (3.8%)

黄田規子さん、王田秀夫さん トークショー(手話通訳付)の感想

- 製作秘話が聞けて良かった。
- きかずに帰ります。ごめんなさい。
- いろんなエピソードなどが聴けて、良かったと思います。生存の小林桂樹さんと高峰秀子さんも近年亡くなってしまって残念でした。
- 映画では気が付かないことを知ることができました
- バックのスクリーンの白さが強烈で目がとても疲れ、かんじんの手にも見つめていられなかった。
- これからも講演つきの上映会があるとうれしいです。いやなこと悪いことが耳に入らないので聴覚障害者には優しい心の人が多いというのは、聞いて初めてそうかもしれないと思いました。
- すごくないです。
- 残念ですが時間と都合で聞けませんでした。
- 残念ながら聞けませんでした。

- 昔、品川ろう学校の時、運動場にて小林桂樹さんと高峰秀子さんと2人で映画中で見たの。
- 今後同様のものはできないかもしれませんね。ありがとうございました。
- 参加しなかった。
- 王田英夫さんとお母さんが、本当に来場されたのには感動しました。
- よかったです。知ることができないような話を多く聞けたから。
- 手話に対するヘンケン、その後のプロセスを見て思うのですが、人との関わりを大切に理解していくには手話も大切な事だと思いました。今は手話をしている健者との関係をうらやましくカッコいいな一と思ってしまう。皆様のご苦勞に感謝です。

横浜市内の映画館の数や状況に対してどのように感じていますか？

- 邦画にも字幕をつけて欲しい。
- 余り横浜には行きません。
- 相鉄ムービルのような映画館は、いつまでも残しておいてほしいものです。
- 大きい映画館は老人にはなじめないですね。
- 65才すぎると眼が疲れやすくなるため、私個人では映画から遠ざかってきています。ごめんなさい。
- 横浜に住んでいないのでわかりませんが、「ジャック&ベティ」には時々来ています。
- 以前の様に映画館があつてよい映画を見せて欲しいです。
- 一般の映画館でも、月一度、邦画には手話弁士付にするべきだと思います。

☆アンケートご協力ありがとうございます☆

次回上映会のお知らせ

日時：2014年2月9日（日）

12:00～14:50

入場料：会員無料 / 賛助会員800円

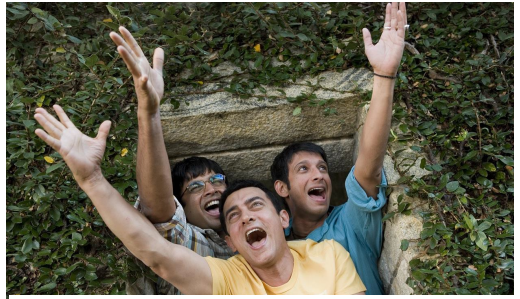
前売り一律1,000円

当日一律1,300円

障害者1,000円 介護者1名無料

会場：横浜西公会堂

（ 横浜駅下車徒歩10分、相鉄線平沼橋駅下車徒歩8分 ）



©Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserved

3 idiots きっと、うまくいく

監督・脚本：ラジクマール・ヒラニ

出演：アーミル・カーン、カリナ・カプール、R. マーダヴァン、シャルマン・ジョーシー

2009年 / カラー / 170分 / ブルーレイ上映 / インド / 原題:3idiots / 字幕監修:いとうせいこう

あなたの人生が光り輝くヒントがきっとある！

舞台は、日の出の勢いで躍進するインドのエリート軍団が集う超難関大学ICE。

未来のエンジニアを目指す若き天才たちが競い合うキャンパスで、型破りな自由人ランチョー、機械よりも動物が大好きなファルハーン、なんでも神頼みの苦学生ラージュの“三バカトリオ”が、スパルタ教育の鬼学長を激昂させるハチャメチャ珍騒動を巻き起こす。

抱腹絶倒の学園コメディで大いに笑わせて、真っ直ぐ

な友情と恋に思わずホロリ。さらに行方不明になったランチョーを探すミステリー仕立ての“10年後”が同時進行。いったいランチョーは、なぜシオンタたちの前から姿を消してしまったのか？

共感度120%のストーリーの根底に流れているのは、学歴競争が過熱する現代のインドが抱える教員問題に一石を通時、真に“いまを生きる”素晴らしさを問いかける万国普遍のテーマなのだ。

【事務局より】

《東北に映画を届けよう！募金のお願い》

東日本地震の被災者、とりわけ子どもたちに、移動上映会で映画を届けるための募金をお願いします。ロビーにカンパ箱を設けましたので、ご協力お願いいたします。皆様からお預かりしたカンパは、コミュニティシネマセンターを通じて、被災地の事務局に届けられます。

《これまでの募金の報告》

2011年6月から2013年3月までの合計金額は 173,111 円でした。下記の二団体へ送金致しました。ご協力ありがとうございました。

一般財団法人コミュニティシネマセンター様、映画センター全国連絡会議様

＜下半期会員募集中！＞

- ◆入会金500円、下半期10月以降入会の方、年会費1,500円(一括払い、会期は2013年3月まで)
- ◆下半期の上映会(2回)を無料で観ることができます。
- ◆総会(年度初め)における議決権があります。

＜賛助会員も募集しています！＞

- ◆入会金不要、年会費 1,000 円(一括払い)
- ◆年度内の上映会を各 800 円で観ることができます。
- ◆総会の議決権はありませんが、ご出席いただけます。

横浜キネマ倶楽部会報

発行：横浜キネマ倶楽部



〒231-0012 横浜市中区相生町1の15
第2東商ビル4階-C 労働市民法律事務所 気付
TEL/FAX:080-8118-8502
Eメール:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HP :http://ykc.jimdo.com